

1. ニホンウナギの資源量について

EU提案ドラフトの主張	・ 資源量は著しく減少し、その数は依然減少傾向にある。 ・ 2018年にIUCNレッドリストにおいて危機（EN）に分類されている。
事実関係	●ニホンウナギは十分な資源量が確保され、国際取引による絶滅のおそれはない ①資源評価結果では1990年以降資源は回復傾向 (田中, 2025). Population size (1+) (thousand ton) Year — Most recent study - - - Previous study 成鰻の資源量は約17,000トン = 初期資源量の22%、 CITES 附属書 II 掲載基準基準 (5-20 %)を上回る = 約6,800万個体に相当、増加傾向 出典: Updated Stock Assessment of Japanese Eels Using Japanese Abundance Indices (田中, 2025, 投稿済) ② 危機（EN: Endangered）に該当せず：絶滅リスクは無視できる水準 定量的手法による再評価の結果、絶滅可能性は0.02%未満 (IUCN 基準: 20 %) 出典: Confidence Interval for Extinction Risk: Revisiting the Misconception that the Interval is too Imprecise to Be Useful (箱山, 投稿準備中)